

戦前、小学校は国家主義・反民主主義的な「国民学校」だった。学校では毎日のように校長が「早く大人になって兵隊にならないといけない。戦場に行って天皇陛下のために死んで靖国神社に葬られる。それが君たちの生まれてきた理由だ」と話した。

ある時、私の母が校長に「先祖代々の墓に帰って帰ることはできるのか」と質問すると、校長は激怒して「この国に生まれる男にとって墓はない」と一蹴し、私が

戦後70年 今、伝えたい

戦後の日本政府の国家戦略は、対米従属を通じて主権を回復し自立するということだった。日本の支配層は、米国に追従することで、1951年のサンフランシスコ講和条約で「独立」し、1972年には沖縄が返還されたと考えた。

その後も対米従属以外の国家戦略を持たず、現在にいたっている。外国の基地が、国内に存在することは、主権国家として恥ずべき状態である。沖縄などの米軍基地は、属国の象徴だ。



大江健三郎さん

プロフィール
1935年、愛媛生まれ。作家。「九条の会」呼びかけ人。1994年にノーベル文学賞。

人間の生き方示す憲法9条

校長から説教された。それ。終戦日の翌週には、村に米軍が到着。する

た。終戦日の翌週には、村に米軍が到着。する。10歳の時に戦争に敗れた。と、すっかり大人たちが

変わった。昨日まで「死んで靖国へ」と言っていたのが、「これから民主主義だ」と。1年半の間に憲法ができた。教育基本法ができた。

短期間で学び、新しい考え方、国の制度を子どもたちに分かりやすく教えられた。軍国主義から民主主義へ、2年にわたる大きな

今年、戦後70年を迎える日本。集団的自衛権の法整備や憲法改正を狙う安倍政権のもと、戦争か平和かの重大な岐路に立つ。

昨年11月、神戸女学院大学名誉教授・内田樹さんとノーベル賞作家・大江健三郎さんが「お

おさか医科・歯科9条の会」、「九条の会」をおさか」でそれぞれ講演した。要旨は次の通り。

今年、戦後70年を迎える日本。集団的自衛権の法整備や憲法改正を狙う安倍政権のもと、戦争か平和かの重大な岐路に立つ。

主権国家が他国に従属 通だが、対米従属することからには、その見返りがあると考えられるのが普遍的。TPPはその最たるものだ。

本来なら安全保障上の様々な選択肢を考へるの

米国の意向をくまなく独自の外交戦略は何もな

をまともに紹介しようとしな

その背景には、日米同盟を基軸として米国の利益を最大化することを効率的にやる人間が、日本

海外メディアは安倍政権の政策を厳しく批判している。これほどまでに批判をされる日本の首相

戦体制のもとで、米ソが傀儡政権の戦争を支援するために「他国の喧嘩を買

集団的自衛権は東西冷戦体制のもとで、米ソが傀儡政権の戦争を支援するために「他国の喧嘩を買

対米従属は自己利益のため



内田 樹さん

プロフィール
1950年、東京生まれ。思想家、神戸女学院大学名誉教授。

その背景には、日米同盟を基軸として米国の利益を最大化することを効率的にやる人間が、日本

海外メディアは安倍政権の政策を厳しく批判している。これほどまでに批判をされる日本の首相

戦体制のもとで、米ソが傀儡政権の戦争を支援するために「他国の喧嘩を買

大好評「春の住まいと医院の相談会」の開催が決定しました！セミナーや豪華賞品が当たる抽選会など、楽しいイベントを企画しています。参加・相談無料！大手ハウスメーカー多数協賛！ぜひお越しください！

セミナーや豪華賞品が当たる抽選会など、楽しいイベントを企画しています。参加・相談無料！大手ハウスメーカー多数協賛！ぜひお越しください！

ご予約特典
お菓子orワインをプレゼント

抽選会
季節のお菓子や生活用品がもれなく当たる!!

大好評セミナー 2本まで!

① 防犯セミナー 10:30~11:30 被害にあわない家とは?!

② 相続税対策と土地活用 14:00~15:00 相続と資産活用どうする?!

お問い合わせ ▶ 大阪府保険医協同組合
tel.06-6568-2741 (担当: しらやま・にいだ)